

GPメダリスト3人が揃い踏み 地元勢は気鋭・佐藤隆太郎が奮起



毒島誠



桐生順平



佐藤隆太郎

野谷憲吾が現在A2級に降格しており不在。その代役として注目したいのは佐藤隆太郎。1月、東京ダービーでの優出6着まで一般戦を3連覇するなどしており、近況の平和島実績は抜群だ。

昨年、桐生も含めて近年の当地戦に限るとインパクトがある結果を残していないが、いずれも屈指の実力者だけにV候補として期待が集まる。毒島と桐生に続く関東精鋭としては、当地クラシックVの実績を誇る土屋智則が有力メンバーの一人に。

展望

水面は海水であり干満差の影響を受ける。満潮時にはうねりが発生して乗り心地の良し悪しが問われるが、当該節に関しては比較的潮位が低くなり、そう、記念レースらしいスピード戦が期待される。

エンジンの番号順にみると19、21、24、31、35、36、38、57、63、64、72が上位クラスに仕上がる候補機。2連対率が高い29号機についてはここまで乗り手に恵まれた側面もあって、数字ほどのインパクトを残さない。45も数字上位だが近況は下降気味。40はある時まで強烈な出方を示していたが、昨年12月の転覆時にピストンとクランクシャフトが交換され、そこから目立たなくなった。

水面・モーター

潮位が低いと水面条件は良好と先に触れたが、問題になるのは風。3月の平和島は風向きが不安定で、気温が高い日は夏の追い風、逆に冷えた日には冬の向かい風が吹きやすく、その落差が大きい。また、一日の中でも気温差が大きいこの時期は午前と午後で風向きが変化することも珍しくない。なお、現在平和島ではスタンド建て替えが進められており、最近では特に2マーク近辺での複雑なビル風が影響して選手のスタート勘を狂わせることがあり、これに対する適応力が問われる。元より春の平和島は思わぬスタート一発という展開に向かいやすく、その点はスタート力上位の選手が多い記念戦でも例外でない。

潮位が低いと水面条件は良好と先に触れたが、問題になるのは風。3月の平和島は風向きが不安定で、気温が高い日は夏の追い風、逆に冷えた日には冬の向かい風が吹きやすく、その落差が大きい。また、一日の中でも気温差が大きいこの時期は午前と午後で風向きが変化することも珍しくない。なお、現在平和島ではスタンド建て替えが進められており、最近では特に2マーク近辺での複雑なビル風が影響して選手のスタート勘を狂わせることがあり、これに対する適応力が問われる。元より春の平和島は思わぬスタート一発という展開に向かいやすく、その点はスタート力上位の選手が多い記念戦でも例外でない。

今節のキモ

(ガイド・長船)

GI #04 平和島 3/15~20
トキーヨー・ベイ・カップ (70周年)

予想 本誌	平和島	選手名	支部	期	勝率	近況	当地		
							勝率	優出	優勝
×		今垣光太郎	福井	63	7.20	↑	8.37	1	1
		石渡 鉄兵	東京	74	6.36		6.43	1	0
×		吉川 元浩	兵庫	79	7.30	↓	7.00	0	0
		山本 寛久	岡山	79	6.67	↘	0.00	0	0
		重成 一人	香川	80	6.23	↑	7.13	0	0
		佐々木康幸	静岡	81	6.77	↘	6.67	1	0
△		齊藤 仁	東京	83	6.87		6.81	5	0
		重野 哲之	静岡	83	6.80		5.84	0	0
×		湯川 浩司	大阪	85	6.76		7.53	3	0
		吉田 俊彦	兵庫	86	6.44		6.71	2	0
		萩原 秀人	福井	86	6.82		0.00	0	0
		東本 勝利	三重	86	6.36		6.84	3	0
		中野 次郎	東京	86	6.52		6.71	2	1
○	◎	毒島 誠	群馬	92	7.96	↑	7.56	1	1
		藤岡 俊介	兵庫	94	7.16	↘	7.90	1	0
		稲田 浩二	兵庫	94	7.26	↘	5.37	0	0
△		山田 哲也	東京	95	6.64	↗	6.03	2	0
		河村 了	愛知	95	6.76		7.20	1	1
×		篠崎 元志	福岡	96	7.45	↘	8.29	2	0
○	△	土屋 智則	群馬	97	7.21	↘	8.23	2	1
		松田 祐季	福井	98	6.63	↗	6.25	1	0
		穴 下出	福井	99	6.32		6.68	1	0
◎	○	茅原 悠紀	岡山	99	7.46	↑	9.00	1	0
◎	○	有賀 達也	埼玉	100	6.58	↘	7.20	3	1
◎	○	桐生 順平	埼玉	100	7.94	↑	7.79	1	0
		和田 兼輔	兵庫	100	6.83		6.27	0	0
×		大池 佑来	東京	101	6.76	↘	7.25	6	2
		篠崎 仁志	福岡	101	6.39		0.00	0	0
×	△	河合 佑樹	静岡	102	7.01	↑	8.69	1	0
		遠藤 エミ	滋賀	102	7.29		6.36	1	0
×		深谷 知博	静岡	103	7.04	↘	6.81	1	1
		穴 渡邊 和将	岡山	103	6.93	↗	7.12	2	1
△		松田大志郎	福岡	104	7.70	↓	6.72	2	0
		浜田亜理沙	埼玉	104	7.20	↘	6.80	1	1
		藤原 菜希	東京	107	6.96	↓	6.71	4	0
		近江 翔吾	香川	107	6.29		7.14	1	0
		木下 翔太	大阪	108	6.87		6.87	1	0
×		島村 隆幸	徳島	109	6.82		8.17	2	1
		丸野 一樹	滋賀	109	7.31	↓	5.86	0	0
×	△	上條 暢高	大阪	110	7.57	↓	8.88	1	0
		中村 晃朋	香川	111	6.42		6.97	2	1
×		木村 仁紀	滋賀	111	6.43		5.38	0	0
		渡邊 雄朗	東京	112	6.79	↘	6.83	1	1
		山田 祐也	徳島	112	6.85		6.00	1	0
		今泉 友吾	東京	112	7.13		7.14	8	1
		椎名 豊	群馬	113	7.13	↓	6.30	0	0
△	△	佐藤隆太郎	東京	115	6.82		7.37	8	4
×		野中 一平	愛知	115	6.70		6.33	1	0
		上田 龍星	大阪	117	7.14	↓	7.30	2	1
		吉川 貴仁	三重	118	6.44	↑	7.05	1	0
		尾上 雅也	埼玉	119	6.34		5.92	1	1
		藤田 俊祐	東京	129	6.24		4.80	0	0

2023年5月14日~5月19日

着	人気	枠	選手名	コース	ST
1	×	②	中田 竜太	2	08
2	◎	①	上條 暢高	1	07
3		⑤	宮地 元輝	4	16
4	△	④	濱野谷憲吾	6	20
5	○	③	山崎 郡	3	14
6		⑥	長田 頼宗	5	19
2連単 ②-①			1840円	6番人気	差し
3連単 ②-①-⑤			7460円	24番人気	



前回結果

佐々木完太が2度目GII制覇へ 実績組は寺田祥、山口剛らが中心



佐々木完太



寺田祥



山口剛

今回のMB大賞は「スター候補チャレンジマッチ」のタイトル通り、次世代を担う若手の有望株が多く参戦。ニューヒーロー誕生を予感させるワクワクするシリーズとなりそう。中でも地元で期待を集めるのは佐々木完太。地区選でも予選突破を果たすなど調子は良く、2度目のGII制覇を目指す。末永和也も2年前の九州チャンプとしてひと暴れしたところだ。

一方、実績組に分類される寺田祥、磯部誠、山口剛、中島孝平、片岡雅裕、坪井康晴らSGウイナー集団も勢揃いしており超豪華な顔ぶれで、意地の走りに注目。ほか、佐藤翼、山崎郡大、長田頼宗らも見せ場を作りそう。

展望

静水面が多い徳山といえども冬から春に向かうこの時期は、時折、強めの風が吹く。そんな時におすすめの2コースからの差し。節間を通して風が強めだった地区選でも10本の2コース差しが決まっただけに、積極的に狙えそう。

モーターは地区選Vの11号機が、出足、行き足の良さを発揮して今大会も盛り上げ役となりそう。ただ、E1S40号機の伸びは変わらず魅力でシリーズを通して狙いたいモーターだ。また、地区選準Vの63号機も伸びはかなり目立っており一発候補として注目。ほか、元E1Sの18号機も復活傾向で、69、72、31、29号機も最近の調子は良好だ。

水面・モーター

注目すべきはモーター抽選。整備はやり尽くされ主要部品も残りわずかで、低調機を引いてしまつとかなり厳しい。調整もペラが中心となりそう。そうなるとう当地を走り慣れているメンバーが有利となる。SG王者がズラリと並び、かなり豪華なメンバー構成だが、寺田、大塚、佐々木、竹田辰也のほか、当地高実績の山口、磯部はそこそこのモーターを引けばある程度の活躍は見込める。若手組も実績ある末永、原田才一郎は、不安要素は少ない。逆に、当地実績は乏しくとも好調機を引いてしまえば一気にVのチャンスが膨らむ。中でも若林樹蘭、中野仁照、若林義人らの破壊力に期待だ。

(日刊・測上)

今節のキモ

GII	#18	徳山	3/19~24
モーターボート大賞 スター候補チャレンジマッチ			

予想	本誌	徳山	選手名	支部	期	級	勝率	近況	当地		
									勝率	優出	優勝
×			濱野谷憲吾	東京	70	A2	7.00	↘	6.17	0	0
			江本 真治	山口	74	A2	5.82		6.66	7	0
○	◎		寺田 祥	山口	81	A1	6.88		7.48	4	1
			坪井 康晴	静岡	82	A1	6.77		7.81	2	1
×			谷村 一哉	山口	82	A2	5.99	↗	6.81	6	1
			秋山 直之	群馬	83	A2	7.30	↑	7.37	1	0
			中島 孝平	福井	84	A1	6.68		6.86	0	0
△			丸岡 正典	大阪	85	A2	6.11	↑	7.31	1	0
			柳沢 潤二	愛知	86	A1	6.65	↓	8.12	1	0
			北川 潤二	愛知	91	A1	6.42	↓	6.30	1	0
◎	○		山口 剛	広島	91	A1	7.47	↑	7.75	1	0
			安達 裕樹	三重	92	A2	6.05	↗	6.00	1	0
×			大塚 豊	山口	92	A1	6.87		7.50	8	2
			竹田 辰也	山口	92	A2	6.02	↗	6.90	10	3
			長田 頼宗	東京	93	A1	6.70		5.95	0	0
		注	鈴木 勝博	愛知	94	A2	6.00	↗	6.79	2	1
			今井 貴士	福岡	94	A1	6.70		7.06	2	1
			是澤 孝宏	滋賀	98	A2	6.18		6.52	1	1
△			西村 拓也	大阪	98	A1	7.16		6.94	3	0
×	△		片岡 雅裕	香川	101	A1	7.04		7.02	2	0
◎	×		佐藤 翼	埼玉	105	A1	7.44	↑	8.18	1	0
△	◎		磯部 誠	愛知	105	A1	6.92		8.44	2	1
			石倉 洋行	福岡	107	A2	6.42	↗	6.79	1	0
			河野 大徳	徳島	110	A1	6.44		6.51	1	1
			堀本 和也	徳島	111	A1	6.45	↓	6.66	1	0
×			安河内 将	佐賀	111	A1	6.64		8.44	1	0
△	×		山崎 郡大	大阪	112	A1	7.20	↑	7.63	0	0
			浜先 真範	広島	113	A2	6.15	↗	6.26	2	0
			西野 雄貴	徳島	114	A2	7.07	↗	4.71	0	0
			松井 洪弥	三重	114	A1	6.67	↓	6.96	1	0
			松山 将吾	滋賀	114	A2	5.99		6.03	0	0
			金見 隆太	群馬	117	A2	5.77		6.47	1	0
			佐藤 悠	福井	118	A2	5.68		6.00	0	0
			木谷 賢太	香川	118	A1	6.38	↓	6.36	0	0
			板橋 侑我	静岡	118	A2	5.53	↑	5.76	0	0
			横田 貴満	佐賀	119	A2	6.11	↗	6.38	2	0
			馬野 耀	大阪	120	A1	6.27	↓	5.05	0	0
×	○		佐々木完太	山口	120	A1	6.55		6.15	3	1
			宗行 治哉	広島	120	A2	6.01	↗	4.68	0	0
			竹下 大樹	福岡	121	A2	5.77	↗	7.67	1	0
		△	原田才一郎	福岡	122	A1	6.80	↗	6.08	1	0
			若林 義人	静岡	122	A1	6.33		6.60	1	0
			田頭 虎親	香川	122	A2	6.09		5.24	0	0
			金田 智博	福井	122	A2	5.83		4.71	0	0
			木下 雄介	滋賀	123	A2	5.62	↗	5.00	0	0
○	△		末永 和也	佐賀	124	A1	6.93	↑	7.72	2	0
			小原 聡将	東京	125	A2	5.77		0.00	0	0
			中野 希一	埼玉	126	A2	5.91		0.00	0	0
		注	島川 海輝	山口	126	A1	6.60	↓	4.81	1	0
			中野 仁照	愛知	128	A1	6.78	↘	3.67	0	0
			若林 樹蘭	東京	129	A2	5.83		6.20	0	0
			塚越 海斗	群馬	130	A2	5.83	↘	3.73	0	0



山口剛が悲願の地元タイトル奪取に燃える 遠征勢も峰竜太を筆頭に強力布陣



山口剛



峰竜太



高橋竜矢

68回大会以降、地元勢の優勝から遠ざかっているGI宮島チャンピオンカップ。3年ぶりのV奪還に向け地元勢は強力布陣で挑む。主力は山口剛。悲願となる地元のタイトル奪取へ地の利を生かして序盤から快速モードを見せてくれるはずだ。これに辻栄蔵、上平真二、船岡洋一郎が援護射撃する。

ただ遠征勢も当地相性いい原田幸哉、吉川元浩に峰竜太、桐生順平、片岡雅裕、佐藤翼と地力ある強力メンバーが集結した。ここに今年の中国地区選手権を制して勢いづく渡邊和将も加わり、V戦線は見応え十分。この豪華メンバーを相手に地元の成長株である高橋竜矢がどこまで見せ場を作れるかも注目ポイントだ。

展望

水面・モーター

今節のキモ

開催は4月3日からの6日間。期間中に大潮の日はなく、初日に中潮、2日目から4日目までは小潮で5日目と最終日は長潮と若潮。全体的に潮位変動は小さめなので、さほど気になくても良さそうだが勝負どころの準優と優勝戦の時間帯は上げ潮水面となるので強い向かい風じゃない限りは内有利の水面か。

現行エンジンは昨年10月から使用し5か月半が経過。昨年同様に出したエース機は不在の状態、2連対率40%を超えているエンジンは10機以上も存在。さらに2月から中間整備が入ったエンジンもあり相場は流動的だが、序盤から目立っていた60号機は安心感のある好素性機と見ていいだろう。

昨年はSG「ボートレースオールドスター」で定松勇樹が優勝し世代交代の流れを感じた。この優勝劇は5000番台レーサーの刺激になったことは間違いない。その定松はドリーム戦に選出。定松を含め今大会は5000番台の選手が6名参加予定となっているが、ピックアップするのは地元の高橋竜矢だ。今年の9月には今大会の舞台となる地元・宮島でPGI「ヤングダービー」も開催。現行エンジンでの争いとなるので、今大会は猛者を相手にどこまで好走できるかが最大のポイントだ。地元の正月戦ではFを切ってしまったが機の仕上げは目を引くレベルだっただけに波乱の立役者となる可能性も十分だ。

2024年6月9日～6月14日					
着	人気	枠	選手名	コース	ST
1	◎	①	深合 知博	1	09
2	○	③	山口 剛	3	06
3	△	②	片岡 雅裕	2	12
4		④	藤原啓史朗	4	13
5	×	⑤	坪井 康晴	5	20
6		⑥	森高 一真	6	20
2連単 ①-③			290円	1番人気	逃げ
3連単 ①-③-②			830円	1番人気	



前回結果

GI #17 宮島 4/3~8
宮島チャンピオンカップ (71周年)

予想 本誌 宮島	選手名	支部	期	勝率	近況	当地			
						勝率	優出	優勝	
△	辻 栄蔵	広島	74	6.83	↗	7.53	8	2	
×	穴 上平 真二	広島	75	7.17	↗	7.01	2	0	
×	○ 原田 幸哉	長崎	76	6.52	↑	7.52	1	1	
	注 吉川 元浩	兵庫	79	7.30	↓	6.84	1	1	
	寺田 祥	山口	81	6.88		7.52	2	0	
	古結 宏	兵庫	84	6.44	↗	6.42	2	0	
△	笠原 亮	静岡	84	6.54	↑	7.77	3	1	
	湯川 浩司	大阪	85	6.76		7.33	2	0	
	中野 次郎	東京	86	6.52		6.58	1	0	
△	吉田 拓郎	岡山	90	7.63	↓	6.86	0	0	
◎	◎ 山口 剛	広島	91	7.47	↑	8.51	13	5	
	大峯 豊	山口	92	6.87		7.50	1	0	
	藤岡 俊介	兵庫	94	7.16	↘	7.48	1	0	
◎	○ 峰 竜太	佐賀	95	8.70	↗	5.64	0	0	
	×	船岡洋一郎	広島	98	7.03		6.76	9	3
△	◎ 桐生 順平	埼玉	100	7.94	↑	6.68	1	0	
×	△ 片岡 雅裕	香川	101	7.04		7.64	1	0	
	大池 佑来	東京	101	6.76	↘	6.35	0	0	
×	△ 河合 佑樹	静岡	102	7.01	↑	7.00	3	1	
	桑原 悠	長崎	102	6.93		6.86	1	0	
	×	山田 康二	佐賀	102	7.70	↗	6.85	1	0
	古澤 光紀	福岡	103	6.92	↘	7.24	2	1	
	秋元 哲	埼玉	103	6.58	↗	8.10	4	2	
△	注 渡邊 和将	岡山	103	6.93	↗	7.27	2	1	
	浜田亜理沙	埼玉	104	7.20	↘	6.83	1	0	
	中田 竜太	埼玉	104	7.25		5.89	0	0	
△	△ 佐藤 翼	埼玉	105	7.44	↑	9.25	0	0	
	森野 正弘	山口	106	6.76		6.72	2	0	
	岩瀬 裕亮	愛知	106	7.25	↑	6.93	2	0	
×	大上 卓人	広島	109	6.48	↗	7.41	12	3	
	丸野 一樹	滋賀	109	7.31	↓	6.19	1	0	
×	村上 遼	長崎	110	6.53		6.83	1	0	
△	×	上條 暢嵩	大阪	110	7.57	↓	7.15	1	0
	安河内 将	佐賀	111	6.64		7.67	0	0	
	高倉 和士	福岡	111	6.90	↘	7.51	4	0	
	中村 晃朋	香川	111	6.42		6.35	1	0	
	今泉 友吾	東京	112	7.13		5.09	0	0	
	山崎 郡	大阪	112	7.20	↑	6.56	1	0	
×	藤原啓史朗	岡山	112	6.54	↗	7.24	2	0	
	下寺 秀和	広島	112	6.49		6.28	5	0	
	野中 一平	愛知	115	6.70		5.92	0	0	
×	小池 修平	大阪	117	7.16	↓	7.33	1	1	
△	上田 龍星	大阪	117	7.14	↓	7.04	4	0	
	井上 忠政	大阪	119	7.22		7.86	1	0	
×	西橋 福井	広島	119	6.60		8.50	1	0	
	實森 美祐	広島	119	6.63	↗	6.15	1	0	
	注 高橋 竜矢	広島	121	6.35	↗	6.88	5	0	
	澤田 尚也	滋賀	121	7.11		5.22	0	0	
	原田才一郎	福岡	122	6.80	↗	5.92	0	0	
	前田 滉	愛知	123	6.61	↗	5.88	0	0	
×	末永 和也	佐賀	124	6.93	↑	6.72	0	0	
△	定松 勇樹	佐賀	125	7.25		6.77	1	0	

東海地区選Vの井口佳典がV最右翼 勢いに乗りまくる宮地元輝が迫る



井口佳典



宮地元輝



茅原悠紀

宮島や住之江GIとの競合により主力分散となったが、こちらには馬場貴也、茅原悠紀といったトップレーサーが参戦。ともに押しも押されぬ大スターの立場を築いているが、茅原は63周年を制圧、66周年では準Vの実績を誇る。馬場は一般戦で3回の優勝があるものの、なぜかGII以上の記念レースでは優出しない。ここ数年の相性としては決して良くない印象だ。彼らに迫るのは今年のGI開幕戦である下関周年を勝った宮地元輝、そして各地区選覇者。6地区のうち5地区の覇者(関東II土屋智則、東海II井口佳典、近畿II稲田浩二、四国II島村隆幸、九州II仲谷颯仁)が参戦と、旬のメンバーによるV争いだ。

展望

東海地区選で注目された31号機は、北川潤二が見事優出。優勝メンバーでの比較でも断然の気配を見せていた。完全にエンジン機の座を固めたが、今回の周年でも注目度ナンバーワンとなる。井口佳典が優勝を飾った39号機も当然のことながら注目を浴びる。中山雄太がGI初優出で準優勝。彼の活躍を支えた52号機も垂ゼんの的だ。地区選以降、津は1か月以上の休催となっていたためあまり使用されておらず、相場が引き継がれそうだ。

水面・モーター

新田雄史の地元周年初Vか、豊田健士郎の記念初タイトル奪取か。このふたりが大きな注目を集めそう。そして遠征ではもっとも支持を高めている男が参戦。菅章哉はベスト6に間に合えば枠番不問で狙い目となるだろう。彼の記念初V達成の瞬間にぜひとも立ち会いたいものだ。菅だけではなく、新開航、柳生泰二もここ一番での伸び仕様を懐に忍ばせている。チルト選択に要注目だ。水面相性からどうしても名前を挙げたいのが井上一輝。通算13回の優勝のうち、3回が津。今年は早くも2回のGI優出とレベルアップ。自他共に認める水面巧者がここで花咲く瞬間かも。

今節のキモ

(中日スポーツ高橋亮考)

2024年9月6日~9月11日				
着	人気	枠	選手名	コース ST
1	◎	①	松井 繁	1 07
2	○	②	松尾 充	2 05
3	△	③	磯部 誠	3 09
4		⑥	上條 暢高	6 10
5		⑤	宮地 元輝	5 04
F	×	④	宮之原輝紀	4 +01
2連単 ①-② 240円 1番人気 逃げ				
3連単 ①-②-③ 550円 1番人気				



前回結果

GI	#09	津	4/4~9						
ツッキー王座決定戦 (73周年)									
予想 本誌	津	選手名	支部	期	勝率	近況	当地		
							勝率	優出	優勝
×		服部 幸男	静岡	64	6.72		8.30	1	1
		三嵩 誠司	香川	69	6.51		5.75	0	0
		仲口 博崇	愛知	69	6.50	↗	5.77	0	0
		徳増 秀樹	静岡	75	6.49	↑	9.30	1	1
		重成 一人	香川	80	6.23	↑	5.76	1	0
		齊藤 仁	東京	83	6.87		7.09	0	0
		須藤 博倫	埼玉	83	6.22	↓	5.58	0	0
△		中島 孝平	福井	84	6.68		6.61	0	0
△	○	井口 佳典	三重	85	6.68	↗	7.94	4	4
		森高 一真	香川	85	6.45		7.11	0	0
×		萩原 秀人	福井	86	6.82		6.10	0	0
		杉山 正樹	愛知	87	7.02		6.30	1	0
		久田 敏之	群馬	91	7.35		7.82	4	0
◎	◎	馬場 貴也	滋賀	93	7.62	↘	6.07	0	0
		長田 頼宗	東京	93	6.70		7.67	3	1
		杉山 裕也	愛知	93	6.83	↘	6.03	1	0
	×	稲田 浩二	兵庫	94	7.26	↘	0.00	0	0
		古賀 繁輝	佐賀	94	7.04	↓	9.10	1	1
○	○	新田 雄史	三重	96	7.15		7.64	10	3
		篠崎 元志	福岡	96	7.45	↘	5.86	0	0
		柳生 泰二	山口	97	6.90		7.39	3	1
		土屋 智則	群馬	97	7.21	↘	7.17	1	0
		前沢 文史	東京	97	6.21	↗	0.00	0	0
△	×	西山 貴浩	福岡	97	7.64	↘	7.11	0	0
◎	◎	茅原 悠紀	岡山	99	7.46	↑	6.44	0	0
		有賀 達也	埼玉	100	6.58	↗	6.98	3	1
		末永 由楽	岡山	100	6.50	↘	5.00	0	0
○	△	宮地 元輝	佐賀	100	7.42		7.50	1	0
		和田 兼輔	兵庫	100	6.83		5.67	0	0
		穴 遠藤 エミ	滋賀	102	7.29		7.95	2	1
		深谷 知博	静岡	103	7.04	↘	7.00	0	0
	△	菅 章哉	徳島	105	6.72	↗	6.81	2	1
		中嶋健一郎	三重	105	6.31		6.68	8	1
	×	磯部 誠	愛知	105	6.92		8.23	2	0
		渡邊 優美	福岡	105	7.01	↘	8.00	1	0
		中山 雄太	愛知	108	6.54		6.20	0	0
		木下 翔太	大阪	108	6.87		6.44	1	0
△		島村 隆幸	徳島	109	6.82		6.00	0	0
×		木村 仁紀	滋賀	111	6.43		7.10	1	0
×		山田 祐也	徳島	112	6.85		6.94	0	0
		高田 ひかる	三重	113	6.48	↘	6.81	4	0
		松尾 拓	三重	114	6.36		6.56	9	1
	穴	井上 一輝	大阪	114	6.61	↑	7.30	4	2
	×	羽野 直也	福岡	114	6.88	↘	6.19	0	0
×		佐藤隆太郎	東京	115	6.82		6.65	1	0
		仲谷 颯仁	福岡	115	7.36		7.05	1	1
×	△	豊田健士郎	三重	115	7.04		7.64	14	4
×		入海 馨	岡山	116	7.31	↘	8.12	2	1
	穴	新開 航	福岡	118	7.26	↓	7.27	2	1
		佐々木完太	山口	120	6.55		7.18	0	0
		松本 純平	埼玉	123	6.85		6.52	1	0
		常住 蓮	佐賀	126	6.60		4.80	0	0